

令和元年10月31日（木） 教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報 告）

ア 令和元年度浜松市優秀教職員表彰について

※教職員課長から資料に基づき説明。

（安田委員）要望として、出席者が多い場で表彰式を行うなど、表彰の仕方を工夫して欲しい。

（教職員課長）生徒の前で表彰式を行う学校もあり、教育委員会としてもマスコミにも写真入りで情報提供を行っている。優秀教職員のPRとなる活動を行っていききたい。

（黒柳委員）学年だよりや学校だよりなどを通じて、優秀教員を紹介していただけると保護者も周知することが出来て良いと思う。

（渥美委員）広報はままつなどの市の広報誌に掲載すると良いと思う。

イ 令和2年度浜松市立幼稚園園児募集の結果について

※幼児教育・保育課長から資料に基づき説明。

（渥美委員）東京では、1歳児からの保育園見学会に多数の保護者が来園するなど、都心部では、0歳児から教育が始まっているように思う。

幼児教育・保育課には、世の中の動きに留意しつつ、20、30年後の先を見据えた取り組みを行って欲しい。

（黒柳委員）来年度入園予定の3歳児が1人だけの幼稚園については、保護者に対し働き掛けを行っているか。

（幼児教育・保育課長）3歳児が1人だけの場合、今回の応募が1人であることや他園児との関わり方に今後影響があることも考えられることを伝え、保護者にご判断いただくことになる。

（安田委員）来年度、浦川幼稚園の全園児数が1人になることが見込まれているが、これまで、園児数が1人の幼稚園はあるか。

（幼児教育・保育課長）これまで、園児数が1人の幼稚園はない。浦川幼稚園については、原田橋の影響がある。今後の原田橋の進捗を踏まえて保護者にご判断していただくことになる。

（安田委員）要望として、各園には、園児が複数人と接する仕組みを作ってもらいたい。

(幼児教育・保育課長) 中山間地域については、1回/週とまではいかないが、中山間地域交流事業として、他園との交流をすすめていることから、今後も継続していきたい。

(渥美委員) 幼年期は、人間関係能力の育成において、種を捲く重要な時期であると思うので、他者との関わりを大切にしていきたい。

ウ 教職員のSNS利用に関するガイドラインについて

※教職員課長から資料に基づき説明。

(鈴木委員) 教職員の範囲に市立高校の職員も含まれるのか。

(教職員課長) 市立高校の教職員も今回の対象範囲である。

(鈴木委員) 高校生は義務教育でないこともあり、学校に携帯を持ってきていることが一般化している。義務教育のような縛りが無いので、教師もそのことを意識してもらいたい。ガイドラインは社会人として基本的なことが書かれているが、多忙な教師の理解が進むよう、図解入りで設定の仕方を説明するなど、文字だけでない作りをしていただきたい。

(渥美委員) 最近の人は、図解入りの方が文字だけよりも理解が進むので、図解を最大限利用して欲しい。

(安田委員) 「4 児童生徒の個人情報を発言しない」、「5 個人の意見、考えであることを明記する」、「6 児童生徒、保護者とのSNSでのやりとりは原則禁止です」の3点が特に重要な箇所と思う。今後、修正を加える時は、その点が強調されるようなつくりにして欲しい。

(黒柳委員) 先生と保護者間のSNSの利用を制限する理由についても、ガイドライン等を通じて保護者にも示して欲しい。